

厚生文教委員会報告書

令和2年7月21日

備前市議会議長 守 井 秀 龍 殿

委員長 中 西 裕 康

令和2年7月21日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	調査結果	備 考
1 公共交通についての調査研究 ① 備前市地域公共交通網形成計画について	継続調査	—
2 環境保全についての調査研究 ① 野谷坑廃水処理場について	継続調査	—
3 教育行政についての調査研究 ① G I G Aスクール構想について	継続調査	—

<委員派遣>

- 大内保育園について
- 板屋坑水処理場について
- 野谷坑廃水処理場について
- いんべ通園センター外について

<報告事項>

- 緊急事態宣言解除後の各課のコロナ対策について
- バリアフリー低床車両（市営バス）の購入について（市民協働課）
- 公用車の事故について（市民協働課）
- 和気北部衛生施設組合からの脱退について（環境課）
- 吉田地区への地域活性化交付金について（環境課）
- 和気老人ホーム組合からの脱退について（地域福祉連携課）
- 野良猫不妊去勢手術費助成事業に係るクラウドファンディングについて（保健課）
- ゲートキーパー養成講座について（保健課）

- 備前市国民健康保険第2期データヘルス計画の中間評価について（保健課）
- 旧ヘルスパ日生のサウンディング型市場調査について（保健課）
- G I G Aスクール構想事業の入札について（教育振興課）
- 学校再開に伴う感染症対策と学習保障等支援について（補正予算）（教育振興課）
- 市立小・中学校の終業式について（学校教育課）
- 学校施設の長寿命化計画の策定について（補正予算）（幼児教育課）
- 三石地区公民館・出張所外整備工事について（社会教育課）
- 熊沢蕃山顕彰推進会議について（文化振興課）
- マスク等の在庫状況について（市立病院）

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
委員派遣	2
報告事項	2
閉会中の継続調査事件	14
1. 公共交通について	14
2. 環境保全について	18
3. 教育行政について	20
委員派遣	22
閉会	23

厚生文教委員会記録

招集日時	令和2年7月21日（火）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時30分	開会 ～	午前11時32分	閉会
場所・形態	委員会室	閉会中の開催		
出席委員	委員長	中西裕康	副委員長	西上徳一
	委員	立川 茂		星野和也
		森本洋子		青山孝樹
		藪内 靖		
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	守井秀龍		
傍聴者	議員	掛谷 繁		
	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
説明員	市民生活部長	藤田政宣	市民協働課長	藤森仁美
	環境課長	久保山仁也		
	保健福祉部長 兼 福祉事務所長	眞野なぎさ	保健課長	森 優
	地域福祉連携課長	江見清人		
	教育部長	田原義大	教育振興課長	大岩伸喜
	学校教育課長	岩井典昭	幼児教育課長	波多野靖成
	文化振興課長	畑下昌代	社会教育課長	竹林幸作
	病院総括事務長 兼 日生病院事務長	濱山一泰	備前病院事務長 兼 さつき苑事務長	石原史章
	吉永病院事務長	尾崎嘉代		
審査記録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○中西委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は7名でございます。定足数に達しておりますので、これより厚生文教委員会を開会いたします。

それでは、本日の進め方についてですが、まず執行部より報告事項をお受けし、報告事項についての質疑を行った後にレジュメにありますように公共交通、環境保全、教育行政についての調査研究を行います。

***** 委員会派遣 *****

今日は、委員会閉会后、午後1時半より大内の保育園、板屋坑水処理場、野谷坑廃水処理場へ委員会視察に伺いたいと存じますが、委員全員を派遣することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。それでは、そのように決定し、委員会閉会后に議長に対し委員会派遣を要求します。

なお、視察は議会公用車で行うことといたしますので、御承知お祈りいたします。

***** 報告事項 *****

まず、報告事項の一番上にあります緊急事態宣言解除後の各課のコロナ対策について、緊急事態宣言が解除された今、中止や延期となった事柄をどのように方針転換したかを各課に回答をいただき、そのまとめを本日配付しております。配付資料に加えて補足説明がありましたら執行部より報告を願います。

執行部のほうからは特段ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、質疑がある委員の方の発言を許可いたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですけど、委員長から一言。

保健課あるいは病院の必要物資の発注というのはそれぞれされているのでしょうか。

○森保健課長 保健課なんですけれども、備蓄を含めて発注はしております。順次入ってきておる状況でございます。

○濱山病院総括事務長 病院においても、順次発注かけた分は今のところスムーズに入ってきている状況です。

○中西委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、それ以外の報告について執行部より順次報告を願います。

○藤森市民協働課長 市民協働課より市営バス購入について報告させていただきます。

市営バスの老朽化に伴い、公共交通網形成計画においてバリアフリーに対応した低床車両の導入を進めることとしていることから、小型マイクロバスタイプのバリアフリー低床車両を1台購入するものです。

令和2年2月定例会におきまして予算の議決をいただき、4月3日の指名委員会において随意契約の承認を得ました。

本件は、備前市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定にあります予定価格2,000万円以上の動産の買い入れに該当しておりましたが、契約金額が2,000万円を下回っていたことから認識を誤り、議会の議決を経ず6月3日に契約を締結いたしました。このため、地方自治法第96条第1項第8号の規定に基づいて議会の議決を得るために直近の議会に議案を提出していただきたいと考えております。今後は、契約事務に当たり十分留意して再発防止に努めますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。このような事態を招いてしまいまして、大変申しわけございませんでした。

続きまして、公用車の事故について報告させていただきます。

7月13日月曜日午前9時20分ごろ、吉永タクシーに運行委託しております市営バス八塔寺線、八塔寺ヴィラ前発吉永病院行きの運行中に三国物産前・大股間で市営バスの自損事故が発生いたしました。当時雨が降っており、下り坂で車がスリップしたため、車両の左側前方が山の側面に衝突したものです。バスに乗客は乗っておらず、乗員にけがはありませんでした。

事故発生後、警察による事故処理を行っていただき、バスを待っていた方はタクシーで目的地まで送り届けております。バスの修理につきましては、吉永タクシー加入の保険で修理対応中です。悪天候や路面状態が悪い状況では、市営バスの直営や運行委託事業者の方にも特に慎重な運転を心がけるよう指導するとともに、運行における安全確保につきまして改めて徹底してまいります。

○久保山環境課長 環境課から和気北部衛生施設組合からの脱退について、現在の状況を報告させていただきます。

備前市の全員協議会で組合から備前市が脱退したい旨の報告をさせていただき、平成31年3月22日付で組合へ脱退届を提出し、その後組合の部課長会議、正副管理者会議、先週7月17日に開催されました組合議会での全員協議会で報告された調整内容等状況を説明いたします。

まず、脱退時期についてでございますが、令和3年3月31日をもって脱退。そして、吉永地区住民の方々の一番関心が高かった脱退後の管外者の火葬場利用の時間制限であります。撤廃の方向で進んでおります。参考までに、備前市も市外者の時間制限を設けておりましたが、令和2年1月1日から廃止をしております。

組合議会の全協で議員にお配りした資料と同じものとなりますが、資料の備前市の組合からの脱退について、アスベスト、RCF、ダイオキシン類調査についてをごらんください。

脱退に伴う解体費用の負担費用が算出されております。これはすぐに解体するというわけでは

なく、将来解体する場合の費用負担として当然現在組合の構成団体である備前市も負担すべきもので、つくるだけつくる後のことは知らないというわけにはいかないと考えております。

解体の積算内容としては、令和元年、2年度の組合予算でアスベスト等の調査を実施しており、分析結果からアスベスト等が発見されたということで、飛散防止を含めた解体ということで4,087万1,000円の解体費用が算出され、備前市分の費用負担としては804万2,000円となっております。通常の施設利用では問題はなく、解体する際には飛散するおそれがあるということで、飛散防止の処理をして解体するということとなります。

次に、脱退までのスケジュールをごらんください。

今後の流れとしては、10月に組合全員協議会で規約改正及び財産の協議を行い、12月には各市町の議会で規約の改正と財産処分について審議を行い、翌年1月に県に申請許可、2月の組合議会で規約改正、条例改正、予算審議を行い、可決すれば正式に脱退ということとなります。

次に、地域活性化交付金であります。

こちらは、脱退とは関係ありませんが、地元吉田地区から要望も出てきたこともあり、地元融和、地元の活性化のため年額120万円を地元へ補助金として交付するものでございます。こちらも基金として積み立て、令和16年度まで交付するというもので、積立額は1,572万8,000円で、備前市負担分が309万8,000円となります。これらの負担金を合わせますと、1,114万円を令和2年度中の組合加入中に支払いたいと考えております。今のスケジュールでは、備前市の2月議会の追加議案で補正予算を上げたいと考えておりますので、何とぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

また、市の全員協議会にて本日説明した内容で議員皆さんに状況報告をさせていただきたいと考えております。

○江見地域福祉連携課長 それでは、和気老人ホーム組合からの脱退の協議について報告をさせていただきます。

地域福祉連携課の資料をごらんください。

和気老人ホーム組合からの脱退につきましても、委員会等で報告はさせていただいているところでございますが、脱退の詳細について報告をさせていただきたいと思ひます。

まず、脱退の時期につきましては、令和3年3月31日で脱退ということでございます。それから、脱退条件につきましては、和気老人ホーム組合につきましては平成29年に和気老人ホーム組合の施設の長期運営計画に基づく運営経費というのを算出をしております。それに基づきまして、備前市分というものを算出して、これを負担することで脱退の条件とするというものでございます。

詳しく説明をさせていただきます。

長期計画では、備前市が脱退後令和3年度から計画にあります令和14年度までの金額を約8,000万円というふうに算出をしております。その中で、備前市が直近の3年間で経常経費

の分担金として負担をしていた21%、これを掛けたもの、1,680万円を負担金として支払うことで脱退の条件とするというものでございます。

脱退のスケジュールにつきましては、先ほど報告のありました和気北部衛生施設組合のスケジュールとほぼ同じでございまして、この12月の議会で脱退についての議決をいただき、来年2月の議会においてその脱退の負担金の補正予算の要求をさせていただきたいと考えております。

○森保健課長 それでは、保健課から報告いたします。

お手元に配付しております保健課の資料、目標金額100万円、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにことしも挑戦しますというチラシでございます。

昨年度から実施しております野良猫不妊去勢手術費助成事業の財源といたしまして、本年度もクラウドファンディングによる財源確保を考えております。期間といたしましては、7月20日から10月17日までで100万円を目標に実施いたします。

昨年度の実績ですけれども、昨年度は7月1日から9月28日まで実施いたしまして、寄附の実績が96件で152万9,500円をいただいております。実際の手術の実績といたしましては、97匹、48万5,000円ということになっております。昨年度は、2月に100匹程度の予定で申請がありましたけれども、新型コロナウイルス感染症の関係で中止となり、実施した猫が97匹で終わっております。

続きまして、ゲートキーパー養成講座について御報告いたします。

お手元に配付しておりますゲートキーパー養成講座～みんなで考えよう かけがえのない命の大切さ～をごらんください。

平成30年度に策定いたしました備前市自殺対策計画に基づき、かけがえのない命を守るため自殺の危険を示す際に気づき、適切な対応をとれることができるゲートキーパーをふやすため、各種団体を対象に講座を開催しております。つきましては、議員の皆様にはぜひお時間をいただき、講座を受けていただきたいと思いますと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

続きまして、データヘルス計画についてですが、市町村国保は健康診査の結果やレセプト等健康医療情報を活用して保健事業の実施を図るため、備前市においては備前市国民健康保険第2期データヘルス計画を策定しております。計画期間は、平成30年度から令和5年度の6年間となっております。本年度が3年目の中間の年となることから、中間評価を行うこととなります。令和元年度のレセプトと特定健診のデータを分析し、目標の進捗状況や取り組みの見直しの検討を行います。計画ができましたら、また委員の皆様に見ていただきたいと思いますと思っております。

続きまして、サウンディング型市場調査についてでございます。

お配りしておりますA3の資料をごらんください。

旧ヘルスパ日生の活用について市の内部で検討しているところですが、その検討の中でサウンディング調査というやり方があり、実施してみてもどうかという意見がありました。そこで、今回サウンディング調査の実施を考えております。

お手元の資料のサウンディング型市場調査の概要をごらんください。

サウンディング型市場調査とは、市有地などの有効活用に向けた検討に当たって活用方法について民間事業者から広く意見や提案を求め、対話によりさまざまなアイデアや意見を把握するための調査でございます。事業実施の可能性について、行政だけでは気づきにくい課題の把握、それから民間事業者の参入の意欲の把握、民間事業者が参入しやすい公募条件の把握のため実施するものでございます。市のホームページへの掲載を約3週間程度行うことと、それから施設管理において実績がある事業者や指定管理を受けているような事業者にわかる範囲で声をかけ、参加事業者を募りたいと思っております。

なお、この調査に対しての費用、市の支出は全くございません。

○大岩教育振興課長 教育振興課から2件報告させていただきます。

1件目ですが、GIGAスクール構想事業の入札が7月17日に行われ、校内ネットワーク更新業務委託業者と学習系タブレット等納入業者が決定いたしました。つきましては、学習系タブレット等購入契約につきまして、議会の議決に付すべき財産の取得案件といたしまして、次回直近での議会に上程させていただく予定としておりますので、よろしくお願いたします。

2件目ですが、補正予算についてですが、学校再開に伴う感染症対策と学習保障等支援のため国の補助金要綱が策定されました。事業の概要といたしましては、各学校において新型コロナ対応に必要な消耗品、備品の購入ができます。各学校長の判断で迅速かつ柔軟に対応できるよう、学校の規模により例えば備前市の場合小学校で各校100万円、備前中学校で150万円、残りの4中学校で100万円、片上高校で200万円を上限に購入できます。事業費の2分の1を国庫補助金、残りの2分の1を新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が充てられることになっております。現在、夏季休業中で授業も実施している中で早急な予算の確保が必要ですので、次回直近での議会に補正予算を提案させていただく予定としておりますので、よろしくお願いたします。

また、あわせて小学校、中学校、高等学校の修学旅行が中止になった場合に発生するキャンセル料についても、保護者への経済的不安を軽減するため市で支払うことができるよう、予算計上を予定しております。財源は、全額新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てることになっております。

以上、簡単ではございますが、財産の取得案件と補正予算について報告させていただきます。よろしくお願いたします。

○岩井学校教育課長 学校教育課より、市立小・中学校の終業式について報告させていただきます。

市立小・中学校においては、昨日7月20日月曜日より夏季休業に入りました。しかしながら、長期の臨時休業により教育課程の実施が困難な状況から、夏季休業中に授業日を設定しているため、児童・生徒の実態に合わせ7月17日金曜日に終業式を実施していない学校もありま

す。実施していない学校も7月31日金曜日には終業式にかわる会を計画しており、一つの区切りとするとのことです。

なお、7月17日に終業式を実施していない学校としては東鶴山小学校、三石小学校、あと市内中学校5つの学校、全7校になります。

○波多野幼児教育課長 それでは、幼児教育課から1件御報告をいたします。

補正予算の計上についてでございますが、学校施設の長寿命化計画の策定であります。インフラの長寿命化計画といたしまして、平成27年度より厚生労働省が取り組みを推進していたものでございます。これはインフラの維持管理、更新を着実に推進するための中・長期的な取り組みの方向性を明らかにするものでございますが、私どもの幼・保の施設におきましては、皆さん御存じのように平成27年度から令和元年度に至るまで、9つの園を廃止、閉園しております。また、5つのこども園の新築あるいは増築をし、なおかつ大内保育園、それから西鶴山保育園、片上保育園もそれぞれ老朽化したトイレの改修をするものですから、令和3年度に策定をする予定にしておりましたが、このたび文部科学省より来年度の補助金算定にかかわるものとして、令和2年度中に策定するように指示をされたものであり、直近の議会に補正予算を提出するものでございます。

○竹林社会教育課長 社会教育課から、三石地区公民館、出張所ほか整備工事につきまして御報告いたします。

本件につきましては、6月議会におきまして契約議決をいただいております。令和3年3月31日までの工期としまして現在施工中でございます。

お手元に工程表をお配りしております。

7月10日に守石地区を対象としました工事説明会を実施しております。その後、13日から現地での工事に着手しております。今後、9月中旬まで解体工事、その後新築工事に着手、外構工事も含めて工期内の完成を予定しております。

また、三石地区を対象に7月広報とあわせて配付させていただきましたチラシを参考としてお配りしております。表面が完成イメージ図及び配置図、裏面に工事期間中の市バス等の乗降場所の御案内を掲載しております。

○畑下文化振興課長 文化振興課より、熊沢蕃山顕彰推進会議について報告いたします。

令和2年5月の教育委員会会議におきまして、備前市熊沢蕃山顕彰推進会議設置要綱を制定いたしました。熊沢蕃山の功績を顕彰していくための設置要綱でございます。この会議の中で顕彰活動を活発にして、市全体的に取り組みを進めるにはどのような活動を行っていくかなどを協議していきたいと思っております。

会議内容といたしましては、熊沢蕃山の顕彰事業に関すること、それから交流施設及び生涯学習の場の検討に関することです。裏面が委員名簿になっております。年に3回程度開催を予定しております。

それから、先日7月14日に開催されました第1回の顕彰会議について報告いたします。

まず、今年度予算計上されています熊沢蕃山の顕彰事業に関することにつきましては、1番目に展示品等の作成といたしまして蕃山に関係する掛け軸や自画像などの複製品の作成、それから年表や足跡などをたどる展示用のパネルの作成を計画しております。今後の巡回展や企画展などの実施などを想定し、わかりやすく蕃山を紹介していこうというものに活用していこうと思っております。

2番目に熊沢蕃山顕彰事項、創作絵本、紙芝居の作品募集についてでございます。

この作品募集を通して多くの方に熊沢蕃山を知ってもらうとともに、幅広い世代に蕃山の事業を伝えていけたらと考えております。募集は、絵本部門と紙芝居部門の2部門でございます。応募登録受け付けが令和2年8月3日から12月29日、作品の提出受け付け令和2年11月2日から令和3年1月29日までとなっております。

それから、この事業に対するクラウドファンディングについてですが、本年度実施する顕彰事業を応援していただくため、今回の顕彰事業に係る展示品の作成や絵本等の公募事業を紹介しながら事業にかかわっていただいている方々の思いやメッセージを発信し、熊沢蕃山の功績を伝えるための支援をお願いしていきます。目標金額は300万円で、10月1日開始の予定で現在進めております。皆様の御協力をよろしく願いたします。

その他、顕彰についての意見につきましては蕃山のやってきたことの中で治水とかにフォーカスするのがいいのではないかと、過去も大事ですが、SDGs、持続可能な開発のための教育、過去から未来へ環境問題に対する考えを子供たちに伝えていけばどうかなどの意見が出ました。

次に、交流施設と生涯学習の場の検討に関することでございます。

まず、熊沢蕃山の記念館整備に関する経緯を説明しまして、委員の皆様には記念館等の交流施設及び生涯学習の場としての整備について意見をいただきました。意見の中では顕彰の意義からして整備は進めるべきではないとか、地域の地域や市民全体が利用するような施設でないといけない。それから、世間一般的には興味がある人しか寄らないので、もっと若い人の意見を聞くべきではないか、じっくり足固めをしてから考えるべき、この節目の年をきっかけに若い人に知ってもらう仕掛けが必要ではないかといった意見が出ました。このように、場所や時期についてさまざまな意見をいただきましたが、また今後の会議の中でも協議検討していきたいと思っております。

今後、教育委員会会議等で会議内容を報告し、顕彰活動についての協議等を行っていききたいと思っております。

○濱山病院総括事務長 病院事業から、マスク等の在庫状況について御報告させていただきます。

病院事業全体といたしましては、7月17日時点でマスクが2万2,000枚、手指消毒用アルコールが109リットル、防護具が858セットでございます。

○中西委員長 報告が終わりました。

御説明いただいた報告事項について、質疑がある方の発言を許可いたします。

○青山委員 ゲートキーパー養成講座についてなんですが、我々も講習を受けてより多くの人に対応できるようにしなければいけないなと思うんですが、困っている人はどなたに相談したらいいのかとか、こういう人がゲートキーパーであるというふうな公表なり、何かわかるようなそういう手だてはされているんですか。

○森保健課長 いろんな知識、専門的なことなど、この講座を受けた方がゲートキーパーということなんですけれども、特段例えば受講済みのバッジであるとか、そういうようなものはつくってはないんですけれども、一応これを受けていただいた方がゲートキーパーということで、この方が受けたとかというふうな公表などはまだしていない状況でございます。

○青山委員 身近な人に相談するのが一番だと思うんですけど、専門的な知識を得た方が近くにいたり、気軽に相談できたらそれにこしたことがないんじゃないかなと思うんですけど、わからなかったらなかなか相談ができないと思うんです。認知症サポーターなんかはオレンジの手首に巻くようなものがありますが、あれだけでもなかなかわかりづらいと思うんですけど、例えばいのちの電話とかというふうな形で公表されているようなものについてはそこに電話をすれば相談はできるということがあるんですけど、ゲートキーパーもそういういのちの電話とか、そういったものにもかかわるとかというふうなことはあるんですか。

○森保健課長 そちらあたりについては、今後市民の皆様にもわかりやすくなるようなことを検討したいと思います。

○青山委員 ぜひそういう人に頼れるようないい方法を考えていただけたらと思います。

○中西委員長 ほかにこのゲートキーパーの件でありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

森課長のほうからはぜひ、これは委員会ですか、それとも議会で。一度2時間ほどの受講をしてほしいということなんでしょう。

○森保健課長 保健課といたしましては、1人でもゲートキーパーをふやしたいというところで、厚生文教委員さんもそうなんですけれども、議員さん皆さんに受けていただけたらとは考えております。よろしくお願いします。

○中西委員長 今、申し入れがあったんですけども、この委員会でゲートキーパーの養成講座をやるというのはいかがですか。やってほしいという執行部からの意向があったんですけど。

○青山委員 認知症サポーターの研修もよかったんじゃないかなと思います。実際にどのくらい使われているかというのはそれぞれの方の状況によると思うんですけど、これも受けて、先ほどの公表のこともありますが、議員も受けているということが何か相談の入り口になればいいんじゃないかなと思います。

○藪内委員 やるべきだと思います。

○森本委員 それで結構です。

○中西委員長 じゃあ、委員会で一度やるということによろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

あと、議員、議会全体にはどうでしょうか。

○藪内委員 全体でやるべきだと。

○中西委員長 じゃあ、一応委員会でやるということにしておいて、日程はまた別にして、議運には一回そういうお話があって議会としてもどうでしょうかというお話だけ今度の機会にお話をさせていただきたいと思います。

○青山委員 サウンディング型市場調査について2件お伺いしたいんですが、1点目は、別のものを調べたらあったりはしたんですけど、公平性、透明性を確保するために具体的にどのようなことをされるのかということが1点。

2点目は、事業者の選定方法というのがここにはないんですけど、どのような方法で選定をされるのかお聞かせください。

○森保健課長 公平性、透明性の確保についてなんですけれども、この調査につきましては実施要領を作成いたしまして、それをホームページで公表して対話に応じてくださる事業者を募集するというところと、あとその事業者からの提案等について最後にまとめを行い、ホームページ等でその結果を公表するというところでございます。当然、事業者の方はそれぞれ自分の事業者の中での特許といいますか、マル秘の部分もあるかと思しますので、公表する際には事業者の了解を得て公表するということにはなるにはなります。

それから、事業者の選定方法ですけれども、この調査はある業者を選定するものではなく、多くの事業者の方からどのような施設の運営の仕方があるのかだとか、どういう仕組みでお客様を呼び込んだらいいのかだとか、そういう提案というか、御意見を聞くための調査でございます。ですから、業者の選定をするというようなことは行わないということになります。

○青山委員 ということは、アイデア募集というふうな考えでよろしいんですか。

○森保健課長 そういうことでございます。

○森本委員 各市町村で取り組んでおられるところが多いので、私もざっと見たんですけど、姫路市とか流山市とかも取り組んでいるんですけど、メリットは書かれているんですけど、デメリットは何でしょうか。

○森保健課長 市といたしましては、メリットがかなり大きい部分があるかと思えます。費用についても事業所持ちということで、デメリットといたしましては済みません、今すぐ思いつかないんですけども、メリットのほうが多いかなとは思っております。

○森本委員 ちらっと調べただけなんであれなんですけれども、どちらかというとデメリットに当たるかどうかあれなんですけれども、行政側としてはたくさん企業に入っていただきたいとか、声を聞きたいということで、そういう企業を集める方向に進んでしまって内容等とかが

おろそかになってしまうみたいなことも書かれたりはしているんです。その辺はしっかりと考えていってくださるとは思っているんですけれども、他市なんかは公共施設に関してたくさんものこのサウンディング型市場調査を導入されているんです。今回は、もう日生の温浴施設だけですか。

○森保健課長 今回考えているのは日生の温浴施設を考えております。

○星野委員 熊沢蕃山顕彰推進会議についてですが、なぜ熊沢蕃山に特化した推進会議を立ち上げられたのでしょうか。

○畑下文化振興課長 ことしにつきまして、熊沢蕃山の顕彰をするための予算的なものをいただいた中で、どうやって進めていくかということのために、ことしにつきましては会議を設置いたしました。

○星野委員 備前市にゆかりのある偉人、文化人というのは何も熊沢蕃山だけじゃないですよね。であるなら、そういった方一人一人を備前市としてどのように顕彰するのかっていうのを考えていかないといけないと思うんですが、先ほどの課長の答弁ですと今年度については蕃山の顕彰推進会議をやって、来年度以降は違う方の顕彰活動をやっていくということによろしいのでしょうか。

○田原教育部長 熊沢蕃山につきましては、世界遺産登録を目指し、また日本遺産に認定されている旧閑谷学校の構成資産ともなっております。そういったところで、旧閑谷学校350年の創学を記念し、また熊沢蕃山の330年という記念の年ということもありまして、顕彰事業についてスタートするというような形で考えております。日本遺産の活用といった部分で熊沢蕃山の日本遺産構成資産を活用していくという意味合いもあり、進めていくということで考えております。

○星野委員 蕃山以外の方の顕彰活動というのはどうされていく考えでしょうか。

○田原教育部長 備前市にはたくさんの地元の偉人、著名な方々がおられます。しっかりと顕彰を進めていくという考えは持っております。そういったことを進めていくには各企画展であるとか地元での顕彰活動、そういったものについて備前市もしっかりと応援するというような形で考えていきたいと思っております。

○星野委員 2月定例会で熊沢蕃山顕彰事業費のほとんどの部分を減額修正されたわけですが、教育委員会会議、教育委員会委員さんやこの熊沢蕃山顕彰推進会議の委員の皆さんには減額された理由というのは説明されたのでしょうか。

○田原教育部長 議会での修正といったことについては説明をして、御理解いただいております。

○森本委員 関連ですけど、前の議会のときにも出たんですけれども、各地区にも顕彰すべき人はいらっしゃるという意見があって、どうして熊沢蕃山だけという話になったときに、ほかのところから出てきても同じような対応をされるのかという質問もたしかあったと思うんです。これ

を先に特化してされるよりは最初に備前市の偉人の方をしっかりと調べて、その中でっていう形で順番に踏んでいくのが私は普通だとは思いますが、各地区から要望が上がればこうやってすぐしていきますよというふうな対応をとられたら後々大変かなとは思ったりするんですけども、その辺どう考えておられるんですか。

○田原教育部長 各地域からの熱意とか、そういったものもあると思います。ただ、今回の熊沢蕃山の顕彰というのは日本遺産の活用という大きな目的もございます。そういった中で進めていくと。各地区からの偉人、そういった方の顕彰につきましても、教育委員会としてはしっかりと各郷土の偉人として大切なものと考えておりますので、そういったことがあれば文化振興課へ御相談いただければ、顕彰活動についてどういった方策があるのかというようなことについては真摯に御相談に乗ったり、アドバイスはできると考えております。

○森本委員 閑谷学校と関連してお話をされているわけなんですけれども、人によったら閑谷学校と蕃山は余り関係がないという御意見もありますし、結局は池田藩に追われる形にもなっていますので、そこら辺のことを指摘される方もいらっしゃるんですけど、その辺はどうお考えでしょうか。

○田原教育部長 熊沢蕃山は、閑谷学校の創学を行った池田光政に大きな影響を与えておるという中で、閑谷学校の構成遺産等にも選定をされているという中で進めているわけでございます。確かに、熊沢蕃山と閑谷学校そのものに関しての関連性は指摘されるところでございますが、大きな理念、そういったものについては熊沢蕃山が大きな影響を与えていると考えております。

○森本委員 先ほどいただいた熊沢蕃山顕彰事業の資料の中身なんですけれども、審査結果を発表、表彰しますというところで、どなたが審査をされるのでしょうか。

○畑下文化振興課長 紙芝居と絵本の募集の分につきましては、審査員といたしまして委員でもあります森熊男先生とか、片山ひとみさん、この2人には文章の内容とか流れとかを見ていただきます。それから、イラストにつきましては伊里地区の地元の元美術の先生だったと言われる花岡さん、それから以前地域おこし協力隊で協力いただきました江角明日香先生に絵のほうについて見て、審査をしていただく予定です。

○森本委員 たくさん応募があればいいんでしょうけど、応募数が少ない場合該当者なしとかも考えられるんですか。作品最優秀賞とかは必ず出されるわけなんですか。

○畑下文化振興課長 作品については募集をかけてみないとどのくらい出てくるかはわかりませんが、ホームページはもちろんです、いろいろな関連のある地域、部署についてのPRをさせていただいて、たくさん募集をしていただくような形でお願いはしております。

○西上副委員長 先ほど、星野委員の御質問で答えられたことなんですけれども、議会で修正されたことを教育委員会会議で御説明されたということですが、そのときの教育委員さんの御意見はどのようなものがあつたのか、教えていただきたいと思います。

○田原教育部長 議会の修正がありましたという報告をしたときは、委員さんからは特段の意見

はございませんでした。ただ、今後顕彰事業については進めていくことを認めていただいていますので、しっかりと顕彰していくということでお伝えはしております。

そのときにあわせて推進、顕彰についての推進委員会を立ち上げて、推進とあとは施設の整備等についても協議しながら検討していきますということをお伝えしております。

○中西委員長 ほかの報告事項のところではありませんか。

○西上副委員長 野良猫の件で、以前もお聞きしたことなんですけれども、相手が野良猫ということで捕まえにくい、捕まえられないということをお伺いするんですけれども、あんたにとってくれりゃあええのって言うんですけれども、私もようたらなので、おりでも設置せられえという言うんですけど、そのおりなんかでもこのクラウドファンディングの寄附金の中からの助成金として使えるのかどうか、その辺1点お伺いしたいんですが。

○森保健課長 クラウドファンディングで集めた費用につきましては、広く動物愛護という事業に使わせていただくというところで、当然おりなんかも今後必要であれば考えていきたいとは思っております。

○西上副委員長 ぜひおりにも使えますようによろしくお伺いしたいと思います。

○星野委員 今回、報告事項で組合からの脱退が2件報告されているんですが、両方とも負担金さえ備前市が支払えば、すんなり脱退できる方向に進んでいると認識しとけばよろしいんでしょうか。

○久保山環境課長 基本的にはうちが負担しなければいけない負担金等も当然ありますので、その負担によってほかの自治体の理解もいただけると考えておりますが、基本的にはもう冒頭申し上げました令和3年3月31日で脱退するよということで皆さんそういう方向で向いていると考えております。

○江見地域福祉連携課長 和気老人ホーム組合からの脱退につきましても、昨年平成31年4月17日付で備前市長と備前市議会議長名で脱退の届けを出させていただいています。その後、担当者等で1年をかけた協議をした結果、この内容でこちらとしてはおおむね了承を得られたのではないかと考えておりますので、この内容でよいかと考えてございます。

○森本委員 修学旅行の件についてお尋ねしたいと思うんですけど、キャンセル料を見ていくということなんですけど、現在小学校6年生とか中学校3年生が対象になってくると思うんですけど、修学旅行を取りやめたところはまだないんですね。

○大岩教育振興課長 今のところはありません。順延という形はありますけど。

○森本委員 行くとすれば、いつぐらいまでをぎりぎりの期限とされているんですか。

○大岩教育振興課長 今いただいている資料によりますと、大体11月の初旬とか10月の頭、10月の末ぐらいが多いんですけども、キャンセル料につきましては今算定しているのが旅行料金の20%となると大体旅行を1週間前ぐらいでキャンセルしたときにその20%と、あと企画費といいますか、そういうのは旅行者に払うということをお伺いしておりますので、その辺を人

数で出して今計算しているところでございます。大体8日前まででしたら20%のキャンセル料ということでお聞きはしております。

○森本委員 20%までは必ず市が見ていくということですね。

○大岩教育振興課長 そのようには予算は組んでおります。

○星野委員 修学旅行以外の宿泊学習とかもあると思うんですが、そのあたりのキャンセル料の補償ってというのはどうなるのでしょうか。

○大岩教育振興課長 今、新型コロナの地方創生臨時交付金のところでは修学旅行としかうたわれてないので、そういったものには対象にならないので、そちらのほうは考えてはございません。校外学習というんですか。

○中西委員長 ほかにはございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、報告事項を終わりたいと思いますけど、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

報告事項のみの説明員の方は御退室いただいても構いません。

委員会審議中途でございますが、暫時休憩いたします。

午前10時36分 休憩

午前10時45分 再開

○中西委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

***** 閉会中の継続調査事件 *****

次に、閉会中の継続調査事件に移りたいと思います。

まず、公共交通についての調査研究を行います。

備前市地域公共交通網形成計画について、去る6月定例会期中の委員会では時間の関係から概要のみ説明をいただき、質疑をいたしました。ここでもう一度担当課より説明を受けたいと思います。よろしくお願いいたします。

○藤森市民協働課長 本日、お手元でございますのが、今回策定いたしました備前市地域公共交通網形成計画書になります。

1ページをごらんください。

この計画は、備前市全体を見渡した面的な公共交通ネットワークの再構築に向けまちづくりと連携したもので、令和2年度から令和6年度の5年間を計画期間としています。

31ページをごらんください。

本市を取り巻く人口減や高齢化といった環境、公共交通の状況、住民意見等を踏まえ、公共交通の課題を整理しております。市営バスに対しては、JR、宇野バス、市営バス路線相互の乗り継ぎについて充実と改善を求める意見をいただいております。また、非効率な運行をしている路線が存在し、スクールバスの一部路線と市営バスの経路が重なり、効率的な運行を目指した見直

しが必要になっています。さらに、バス停までの移動が困難な高齢者への対応、公共交通機関と住民共助による移動手段やタクシーの活用など、役割分担の明確化や市民参画による持続可能な移動手段の確保を検討していくことが求められております。

32ページの課題ではバス停等の利用環境の改善、観光地へのアクセスのしやすさや情報提供の強化等が求められております。

36ページをお開きください。

目指すべき公共交通の将来像を図表に示しております。

紫色の線は、広域的な幹線としてJR、宇野バスを移動手段としております。青色の線は、各拠点や隣接市町を結ぶ地域間幹線として市営バス、定住自立圏圏域バス、隣接市町バス、定期航路を移動手段としております。緑色の部分は、支線区域として市営バスだけではなく、地域特性に応じた多様な移動手段を導入することとしております。

38ページ、問題解決や将来像等を踏まえ、基本理念を市民生活とまちづくりを支える公共交通の形成と設定しております。

続いて、目標を実現するための事業につきまして、主なものの進捗状況を御報告いたします。

41ページをごらんください。

事業1、今年度は市営バスの再編案を作成、また42ページにありますように循環型路線の検討をいたします。詳細な利用実態を把握するため、9月ごろから片上、伊部、日生、吉永、伊里の5カ所においてバス利用者に聞き取り調査を実施、あわせて車内にアンケート用紙を設置し、利用者に記入していただけるように現在準備を進めております。

43ページの事業2のスクールバスと市営バスの統合については、児童・生徒の安全面の課題等について今年度は関係課と協議を進める予定にしております。

次に44ページ、事業3をごらんください。

支線区域では、バスだけではなく各地域に適した移動手段が必要になります。鶴海地区においては、グリーンスローモビリティをNPO法人が秋ごろに運行予定で準備中と聞いております。運行準備が整えば、公共交通空白地郵送運送運営協議会で承認を諮るなど、主管課の地域福祉連携課と連携していきたいと考えております。

また、45ページ、事業4になりますが、備前片上駅を交通結節点として位置づけ、旧ベスト電器跡地を市営バス駐車場に、JR備前片上駅舎の一部を市営バス管理事務所として改修するために、現在設計会社、関係各課やJRと協議を重ねております。9月補正予算で工事請負費を提案したいと考えており、3月末の完成を目標にしております。

事業5では、4月に市営バス1台に音声案内を導入、今年度中に直営のバス5台におきまして社内のテレビモニターに行き先案内を表示し、音声案内を放送できるようにします。また、バリアフリーに対応した低床車両1台を今年度中に納車予定です。

事業6は、頭島線のダイヤの一部で五味の市を経由する案を検討しておりまして、現在バス停

の位置について警察と協議中です。今後、公共交通会議に諮ってまいりたいと考えております。

○立川委員 1点お願いなのですが、今さっき45ページ見させてもらって、例の結節点の関係ですね。その他バス停においてもベンチの設置や屋根の設置等を含め、地域と連携してバス停や待合環境の管理、環境美化を行いますというようなことも書かれておるんですが、現状、今あちらこちらにあるバス停で、例えば待っていて危ないなとかというバス停があるとか、バスをとめるには広いけども、そこにおうちがないんで、そこまで行くのがかなり長いとか、さっき東鶴山のグリーンスローモビリティは出ていましたけど、そういったところというのは調査して改善に取り組まれるんでしょうか。お願いなのですが、どんなぐあいですか。全くそれは関係なしで、こういう大きな計画だけやられるということなんですか。

○藤森市民協働課長 30ページにバス利用者が不満に感じている点という図表がございます。この中で、赤丸がしてあるところなんですけれども、バス停の待合環境の満足度の偏差値が非常に低くなっております。バス停の環境に対して不満があるということは認識しております。あとバス停の設置場所についても危ないとか、移動してほしいとか、そういった声があれば現地を確認して、ほかに適切な場所がないかを確認しております。その上で、警察に協議を行っております。今後も、そういった改善については取り組んでいきたいと思っております。

○立川委員 ぜひお願いしたいと思います。利用される方も利便が上がり、環境が整えばということもお聞きをしておりますので、僕も全部見て回ったらいいんですけど、まだ全部をよう見て回っていませんので、ぜひお願いしたいと思います。ありがとうございます。

○青山委員 バスの路線なんですけど、例えば集落があつて、そこにも前に道があるんですけど、それと別の道の幅にもよるのかなと思うんですけど、その集落から遠いところを通って行き過ぎてしまうということで、集落のほうへ回ってもらえんかということもあるんですけど、これは道幅とか交通、とめるところとか、そういったようなことでできていないようなところなんですかね。

○藤森市民協働課長 皆さんの御要望があればそこにお応えしたいと思うのはやまやまなんですけれども、実際の運行ダイヤであるとか、先ほど支線区域とか幹線区域とかという話もありましたが、なかなか全ての集落に回れないのが現状であります。運行本数とか、時間であるとか、そういったのを見ながら運行していくようになります。

○青山委員 地元からそういうここを通ってもらえんかというふうな要望があつたら、これはこういう理由で通れませんというような説明もしていただけるんですかね。

○藤森市民協働課長 検討していきたいと思っております。

○星野委員 47ページの実施スケジュールに目標の1から6、事業の1から11ですか、ほとんどの事業について検討が整った地域から随時実施であるとか、可能な取り組みは随時実施というふうになっているんですが、今年度どのような事業が行われているんでしょうか。

○藤森市民協働課長 まず、事業1についてはアンケート調査を実施して、その結果でバスの再

編案を今年度は作成していきます。

事業2のスクールバス路線との統合については、新型コロナの関係もあって不特定の方と児童・生徒が混乗するといった問題もありますので、今年度は協議をしてみたいです。

それから、事業3、地域特性に応じた移手段の導入というところでは、先ほどの鶴海地区のグリーンスローモビリティの導入とかといったものが対象になってきます。こちらも今年度秋ぐらいの運行開始を予定しております。

それから、事業4になりますが、旧ベスト電器のところの改修や備前片上駅の改修になっていきます。そちらも今年度末までの完成を目指しております。

それから、事業5のバス車内における利用環境の向上については、今年度音声案内を直営のバス5台に入れるとともに、バリアフリーに対応した低床車両の導入についても今年度末までの納車を目指しております。

それから、事業6、観光二次交通の充実というところでは、五味の市へのバスのルートの運行開始ということで、それも今年度に運行開始をする予定でございます。

それから、事業11については、今年度公共交通会議を2回ほど諮る予定にしております。

○星野委員 事業5と事業7にまたがると思うんですが、先ほどの報告事項で議決案件だった契約議案を上げるのを忘れていたというお話もあった車両なんですが、こちらについてはバリアフリーに対応した低床車両というもののみなののでしょうか。その下にある交通系ICカードICOCA、電子マネー、キャッシュレス決済などに対応はされてないのか。また事例、事業7にある多言語化による公共交通の情報発信は、バス車内モニターですか、こういうものも記載されているんですが、そのあたりの検討というのはなされたんでしょうか。

○藤森市民協働課長 まず、交通系ICカードICOCAや電子マネーなんですけれども、ICOCAの導入については相当金額がかかると聞いております。来年度春にJRが地域交通に活用できるプログラムを現在開発中でございまして、そちらを待ちたいと思っております。

それから、多言語化による公共交通の情報発信なんですけど、今年度は導入する予定にしておりません。

○星野委員 あと、9月ごろからアンケートをとられるという話だったんですが、どれぐらいの人にアンケートを書いてもらう予定にしているんでしょうか。

○藤森市民協働課長 主要交通結節点5カ所で行うアンケートについては、済いません、数を把握しておりません。そのほかに各バスにも搭載しまして、バスの利用者の方々にもアンケートを記入していただくように考えております。

○西上副委員長 41ページ、市営バスの再編ということで吉永線、南北・のぞみ線、東鶴山線については路線の統合を含めといったことで減便になることが危惧されると私もは思っておるんですけれども、収支率が低いということで今幾らお金がかかるとんかということになって、古い資料を今ここで見させてもらったら、28年度の特別交付税というところで市営バスの運行と

いうところが公共交通課より厚生文教委員会に資料提出されたものがあつたので、見ましたら、年間運行経費から収入を引いたもの掛ける特別交付税の理論値0.8で、この年は2,200万円幾らだということになっておりますが、幾らまでがよかって、幾らまでが悪いんかというのが疑問なんです。疑問というんか、知りてえところなんですけど、幾らまでだったら出せる、出せない、その線引きというのはあるんでしょうか。

○藤森市民協働課長 難しい質問なんですけれども、線引きというのはいちおう決めてはおりません。

○西上副委員長 それなら、何をもって減便と言われるんでしょうか。

○藤森市民協働課長 実際の利用実態とか、大勢の方から要望はいただいておりますけれども、実際に利用していただけるかというところと利用されていない便もございますので、そういった利用実態を見ながら運行時間であるとか、それから距離、ダイヤ、そういった検討をしながら減便については検討していきたいと思っております。

○西上副委員長 市営バスというのは福祉の部分が非常に多い部分だと私は思っておりますので、そういう収支率がどうのこうのというところまで話にならないのなら、もうそのまま残していただきたいというのが私らへんぴなところに住む人間の思いでございますので、どうかよろしくお願ひしたいんですが、課長いかがでしょうか。

○藤森市民協働課長 そういった事情も考えながら検討していきたいと思っております。

○中西委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、以上で公共交通についての調査研究を終わりたいと思います。

関係説明員の方は御退席いただいても結構ですので、よろしくお願ひいたします。

次に、環境保全についての調査研究を行います。

野谷坑廃水処理場についてということで招集しましたが、現地での視察中に質問が出ると予想されます。本委員会では、坑廃水処理場についての説明を概要で結構ですので、いただけたらと思います。

○久保山環境課長 それでは、環境課から環境保全についての調査研究の野谷坑廃水処理場についてということで午後から現場の坑水処理場を見ていただく予定でございますが、坑水処理について経緯等を説明させていただきたいと思ひます。

備前市内には休廃止されている鉱山が6カ所ありまして、委員さんに配付しております資料の位置図をごらんください。

広域内地図、それから若干詳細な位置図をつけておりますけれども、この図面を見ながら御確認いただきたいと思ひます。

共栄、寿、大盛鉱山では、板屋坑水処理場で処理をし、場所は吉永町今崎地区になります。中石金谷、富士鉱山、こちらは金谷の坑水処理場で、地区は吉永町金谷、元山鉱山は野谷地区で野谷坑廃水処理場で処理をしております。鉱山の採掘終了後は、鉱山の坑口等から流出される坑水

に含まれる重金属、強酸性水により金剛川流域の水質の汚濁、農用地の汚染等をもたらしており、そのまま放置すれば周辺住民の健康被害、農作物被害、漁業被害等の心配があり、公害被害拡散防止するため坑水処理を実施しております。

坑水の中和処理の方法は、休廃止鉱山の坑口から流出する重金属を含む強酸性水を消石灰、タンカルで中和処理しております。

資料2、各処理場の処理フロー図を配付させていただいております。

施設の新しい、古いで若干異なる部分もございますけれども、処理自体はほぼ同じ工程で処理していきます。板屋、金谷の処理場は、ほぼ同時期に施設更新がされておりますが、金谷の坑水処理場にはフィルタープレスがございません。それによってバキューム車により汚泥を吸い上げ、板屋の処理場へ持っていき、そこでプレス処理をしております。

板屋の坑水処理場のフロー図で処理の大まかな流れを説明します。

坑口から出てくる坑水を引き込み、原水槽へ一旦ためます。そこから中和槽へ移し、消石灰により中和処理を行います。そこで、中和反応をよくするようにブローで空気を送り攪拌させます。そして次に、きれいな上水と汚泥が早く分かれるように凝集剤を添加させ、沈降槽、シックナーとも言いますが、これによって汚泥と分けてきれいな上水は河川へ放流し、沈殿した汚泥はフィルタープレスにより脱水をして、最終的な殿物は産業廃棄物として環境保全事業団へ処理委託しております。この中和処理によって原水だとpH2.2から2.9、酸性水がpH5.8から8.5の間とし、鉄分なども排出基準に合った数値に抑え込んでおります。

A4の紙で坑水処理場の水質分析結果というのも添付させていただいております。

原水が処理前の水、坑口から出る水でございます。処理水が、処理場で中和処理をした後のきれいな水ということになります。それぞれの処理場の分析結果を載せていますが、例えば板屋坑水処理場については令和元年12月17日ですと原水がpH2.8、鉄分が1リットル当たり82ミリグラム、鉛、ヒ素はそれぞれ0.005ミリグラム未満となっております。これを処理したものが右の表になりますけれども、pHが7.4、SSが3、鉄分が0.02と中和処理によって排出基準に合った処理水を放流しているということになります。

処理施設は、板屋坑水処理場が平成7年度に完成し、金谷のほうは平成9年度で半自動運転により処理を実施しております。野谷の坑水処理場は更新されておらず、職員により手動により処理し、修繕等に対応しながらやってきましたが、老朽化も進んでおり、施設の更新時期が来ております。

処理場は、公害を防止するため、坑口等から流出する重金属の除去、酸性水の中和処理を行い、金剛川へ放流しているもので、河川流域の水質保全、健康被害の防止を目的としており、半永久的に処理をし続けなければなりません。先ほども申しましたが、野谷の坑水処理場の老朽化が進み、早急な対応が必要な状況でございます。

平成30年度に処理場の概略設計、31年度に詳細設計を作成し、令和2年度から令和6年度

の工事期間で更新工事をする予定としております。更新には高額な費用負担が発生するため、国、県の費用負担も必要であり、毎年予算確保に向けて国や県の担当者と協議をしているところでございます。

きょうの午後、大内の保育園視察後、まず吉永町今崎にあります板屋坑水処理場、こちらを見ていただきました後に更新工事をする予定になっております野谷の坑廃水処理場を見ていただきたいと思いますと考えております。

○中西委員長 説明が終わりましたが、皆さんから質疑があれば発言を許可いたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、現地を見て、疑問があれば質疑をしてください。

以上で環境保全についての調査研究を終わります。

関係説明員の方は御退席いただいても結構ですので、よろしく申し上げます。

次に、教育行政についての調査研究を行います。

国が推し進めるGIGAスクール構想について、導入された際に子供たちがどういった活用をし、学習をしていくのか、改めて御説明いただくよう依頼しております。

それでは、執行部より御説明をお願いいたします。

○大岩教育振興課長 備前市教育ネットワークのイメージということで、A4カラーのものを1枚用意させていただいております。

GIGAスクール構想での整備によって市ネットワーク内にある学校ネットワークが高速通信仕様となり、授業等の業務で通常学校で使用する校務及び学習支援システムなどは今まで以上に快適に利用できます。

しかしながら、インターネットを利用するもの、例えばテレビ会議、ZOOMなどの通信量が多いアプリを使用した場合、画像がフリーズまたは音声障害の出る可能性がございます。教育委員会で、ZOOMを使用して通信状態のモニタリングを行いましたが、同時に15台を使用した場合、画像のフリーズ、音声障害が発生しました。インターネットについて市の情報回線、インターネットの出入り口が資料の中でインターネットの下のところに四角い枠で市通信契約60メガバイト、帯域保証ということで、こちらがボトルネックになっている場所がございます。

教育に限らず市役所、議会などさまざまな分野で使用されており、通信が集中する時間によっては通信帯域を圧迫するため通信障害が発生します。そのため、今考えているのが緑のところになるんですけど、学校内にモバイルルーターを設置いたしまして、市のネットワークから切り離れた形でのものを考えております。これによって今までの通信障害を解消できると考えております。

あと、市のインターネットの通信契約、60メガバイトの帯域保証のところを例えば100メガバイトにした場合は、今60メガバイトのときには通信量が月額21万4,500円になるんですけど、100メガバイトにしたときには聞いたところで月額24万7,500円、年間にし

まして大体50万円アップということになります。しかしながら、100メガバイトにした場合に学校内でそれが全て解消できるかと、通信障害が解消できるかということになりますと、疑問が生じるころではございます。

さらに、その上のギガ仕様にした場合、ほかの市町村が見積もりをとったところによりますと帯域保証で月額300万円ということでお聞きしております。これは契約の仕方で例えば6掛けになるであるとか、5掛けになるかというのは契約のやり方あるいは交渉になってくるんですけど、見積もりをいただいている市町村を見たときに月額300万円ということと、あとギガ仕様にした場合、サーバー内の整備費がほかに数千万円かかるということでお聞きしております。今のところ、緑のところの市のネットワークから切り離した環境での使用を考えております。

○岩井学校教育課長 学校教育課より、GIGAスクール構想に関連した内容として臨時休業時のオンラインによる学習支援について説明をさせていただきます。

学習支援のイメージをあらわした資料をごらんください。

現在、想定している学習支援はこのようなイメージとなります。中段右側に①番があります。きょうの学習計画を立てるところになります、ここから矢印をたどると一連の流れが理解していただけるのではないかと思います。

特に、GIGAスクール構想の中でも主体的に学習に取り組む児童・生徒を育成していくという観点から、主体的に家庭学習に取り組む手だてとして学習計画を立てるところこの部分、それに対して⑤番、先生のコメントをもとに計画を修正し、取り組む。それから、宿題に取り組んでいくという部分を非常に大切な部分として考えておりますので、その部分で臨時休業中でもそこを重視して進めていきたいと考えています。

○中西委員長 説明が終わりましたが、委員の皆さんの発言を許可いたします。

○青山委員 臨時休業時のオンラインによる学習支援についてお伺いしたいんですが、学習の計画を立てて、それを先生に修正してもらおうというところから始まるということなんですが、途中宿題をしてわからないというんですか、そういった事態が起こったときに双方向でやりとりができるのかどうか。提出を確認してもらったところであるのか。もし途中で詰まったら、もうそれ以上先に進めなくなって学習がストップしてしまうんじゃないかというふうなことも考えられるんですが、そこら辺はどんなでしょうか。

○岩井学校教育課長 これまでの臨時休業中であれば、学習課題をやって行って詰まることというのは当然あったかと思えます。今回、このGIGAスクール構想によって整備されるものを考えていく中で、当然この図でいえば⑥番、それからそれを提出するという形になっているんですが、その中で手だてとしては質問をしたり、それからそれについての説明を聞いたりというような手だても十分可能なものだと考えております。わからないところをそのまま次の登校日まで待たせるわけではなく、もうその場その場で対応ができるような仕組みになっていくのではないかなと考えております。

○青山委員 その辺が特に担任の先生の技術とかかわると思いますが、ぜひそういう形になるように持って行っていただけたらと思います。

○星野委員 備前市教育ネットワークのイメージなのですが、先ほどの説明では市のネットワークから切り離して、学校ネットワークですね、モバイルルーターを使って今後G I G Aスクール構想としてやっていくんだという説明だったんですが、学校ネットワークを使うと同時に何台ぐらいのタブレットを使用することができるのでしょうか。

○大岩教育振興課長 モバイルルーター1台につき約5台タブレット、パソコンが使用できると。先生のほうが使えて送れるということで、出口はそうなります。

○星野委員 モバイルルーターで5台ということは、各教室に6台ぐらい設置するということになるんですか。

○大岩教育振興課長 今回の段階では休業に備えて各校にZOOMであるとか、生徒にZOOMのやり方であるとか、そういったところをまず研修というんですか、学んでいただくということで、今の段階では各校に1台から2台のモバイルルーターを考えております。それを校内で使用していただくと。休業になりますと、それに基づいて学校の先生のほうで配信していただいて、先ほど学校教育課が説明した1日の流れというような感じの臨時休業時のオンラインによる授業を考えております。

○星野委員 臨時休業になった際の持ち帰りでタブレットを使う際ってというのは、結局は市のネットワークにつながるようになるんですか。それとも、学校内ネットワークにつながるようになるのか、お教えてください。

○大岩教育振興課長 市のネットワークにしますとボトルネックが起こりますんで、緑のところです。

○中西委員長 ほかにありませんか。

よろしいですか。

いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、以上で教育行政についての調査研究を終わります。

関係説明員の方は御退席いただいても結構ですので、よろしく願いいたします。

***** 委員派遣 *****

それでは、最後にもう一件、委員派遣について委員の皆さんにお諮りしたいと思います。

さきの定例会初日に可決されました備前市健康づくり推進条例の制定に当たり、意見聴取を行った備前市健康づくり推進協議会、備前市社会福祉協議会、いんべ通園センター等への制定の御報告とその後の情報交換のため委員派遣を実施したいと思います。ただし、昨今のコロナを考慮し、最少人数での派遣をと考えております。つきましては、8月中の先方との調整ができた日に私中西と西上副委員長、前期厚生文教委員会副委員長の青山委員を派遣することに御異議ござい

ませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。それでは、そのように決定し、後刻議長に対し委員派遣を要求します。派遣月日等は、9月の定例会期中の委員会にて御報告申し上げます。

以上で本日の厚生文教委員会を閉会いたします。

皆さん、御苦労さまでした。

午前11時32分 閉会